

誰もがいずれは高齢者 ～高齢者の交通事故をなくすために～

●24分 ●77,000円(税抜70,000円) ●字幕選択式

「高齢になると運転にどんな変化が現れるのか?」「高齢者と非高齢者がそれぞれ注意することは?」などを事故映像・CG・実験・専門家の説明・インタビューを使って分かりやすく解説。

うしわかまるの こうつうあんぜん

●10分 ●全1巻 DVD 71,500円(税抜65,000円)
●学校・図書館用 36,300円(税抜33,000円) ※館内上映可
●字幕選択式 ●幼児・小学校低学年向け

タイムスリップして、現代に来た牛若丸とカラス天狗は元の時代に戻るために、くらま山を目指します。しかし交通ルールを知らない牛若丸にとって、車社会は危険がいっぱい。身を守るために、カラス天狗から交通ルールを教えてもらいます。本作品は楽しいアニメーションを見ながら、大切な交通ルールを学ぶことができます。

うしわかまるの 自転車交通安全

●12分 ●全1巻 DVD 71,500円(税抜65,000円)
●学校・図書館用 36,300円(税抜33,000円) ※館内上映可
●字幕選択式 ●幼児・小学校低学年向け

タイムスリップして、現代に来た牛若丸は初めて自転車に乗ることになりました。しかし自転車の交通ルールまったく知らない牛若丸にとって、道路は危険がいっぱい。本作品を視聴することで、子どもたちは牛若丸と共に自転車の交通ルールを学ぶことができます。

ズッコケ三人組の自転車教室 安全な乗り方を身につけようの巻

●14分 ●全1巻 DVD 71,500円(税抜65,000円) ●幼児・小学校低学年向け

幼児・小学生を対象に、児童書やアニメ番組で人気の「ズッコケ三人組」のキャラクター(わんぱくなハチベイ、理論派のハカセ、のんびり屋のモーちゃん)と共に「自転車は車の仲間」「道路で自転車の走れるところ」「横断歩道の渡り方」「交差点の渡り方」「危険な運転とは」など、自転車の交通ルールやマナーを正しく身につけていく教材です。

アランくんの こうつうルールをまもろうね!

●12分 ●全1巻 DVD 72,600円(税抜66,000円) ●幼児・小学生低学年向け

この作品は宇宙から初めて地球にやってきた「アランくん」たちが、地球上ではじめての体験を通して、交通ルールを学んでいく作品です。アランと一緒に、横断歩道の渡り方、歩行者用信号機の見方、車の陰からの飛び出しの危険予知などを学び、交通事故に遭わないよう交通ルールを守る大切さを知る作品です。

ズッコケロボの 自転車の交通安全

●16分 ●全1巻 DVD 55,000円(税抜50,000円) ●字幕選択式
●幼児・小学生低学年向け

自転車は便利な乗り物ですが、安全に運転しないと重大な事故を起こす危険があります。この作品は、子ども達に自転車の交通ルールと、ルールを無視した時にどのような危険があるかを、3DCGのキャラクターによる再現で、理解を促します。

クイズでまなぶ ピノキオのこうつうあんぜん

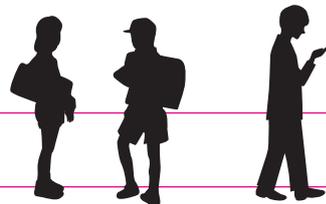
●15分 ●全1巻 DVD 55,000円(税抜50,000円) ●字幕選択式
●幼児・小学生低学年向け

子ども達が大好きなピノキオが、交通安全教育映像として生まれ変わりました。好奇心いっぱいのやんちゃなピノキオは、交通ルールを知らないばかりに、何度も危ない目にあいます。そこで、子ども達の助けを借りながら(クイズ形式での視聴者参加)交通ルールを学んでいきます。

知ってる? 守ってる? 自転車の交通ルール

●19分 ●全1巻 DVD 66,000円(税抜60,000円)

ユウトは交差点の一時停止を守らず、危うく車とぶつかりそうに…。そんな時、ユウトとカケルの前にサッカーボールの姿をした「ルールの神様」が現れます。二人は「ルールの神様」から交通ルールを守ることの大切さを学びます。



小・中・高校向け(セクハラ・コンプライアンス・デートDV 他)

【準新作】LGBTsの子どもの命を守る 学校の取組(全2巻)

●各巻 約38分
●学校・公共図書館向け: 各巻 19,800円(税抜18,000円) /
視聴覚ライブラリー向け: 各巻 39,600円(税抜36,000円) ●教員向け

日常における当事者への配慮、LGBTsに関する授業、カミングアウトがあった場合の対応例など様々な事柄について、模範的な事例だけでなく、起こりうる落とし穴も描きながら実践的に理解できるように描きました。

- ① 危機管理としての授業の必要性(約38分)
- ② 当事者に寄り添うために～教育現場での落とし穴～(約38分)

【準新作】はじめて学ぶLGBTs(全2巻)

●各巻12～22分
●学校・公共図書館向け: 各巻 19,800円(税抜18,000円) /
視聴覚ライブラリー向け: 各巻 39,600円(税抜36,000円) ●小学生向け

LGBTsや性的指向・性自認をはじめて学ぶ児童に向けて「多様性」を理解するためのメッセージを伝えます。男女の性別認識や恋愛に関心が薄いと考えられる小学校低～中学年、関心が高まりつつある中～高学年、それぞれ学年によって適した物語の展開を描いています。

- ① 男らしい色? 女らしい色? <低～中学年向け>(約12分)
- ② 好きになってはいけないの? <中～高学年向け>(約22分)

みんなで考えるLGBTs(全3巻)

●各巻 約20分
●学校・公共図書館向け: 各巻 19,800円(税抜18,000円) / 視聴覚ライブラリー向け: 各巻 39,600円(税抜36,000円) ●中学、高校生向け

性的指向と性自認の多様性について社会の関心が高まり、理解が広がっています。2019年の中学校道徳教科書では、LGBTをはじめとするセクシュアルマイノリティ(LGBTs)を扱う教科書が登場し、学校教育においてもその必要性が認知されつつあります。本シリーズは、性の多様性を人間の個性の一つとして学ぶ機会ととらえ、

LGBTsの当事者である児童生徒が、ありのままの自分でいいという自己肯定感、自尊感情を育むことを目指した映像教材です。

- ① いろいろな性～好きになる性～(約23分)
- ② いろいろな性～心の性・表現する性～(約19分)
- ③ 性的指向と性自認(解説編)(約22分)

新作 ズッコケ三人組の いじめをなくす作戦

●15分 ●全1巻 71,500円(税抜65,000円) ●幼児・小学生向け

この作品では、ズッコケ三人組のクラスの中でいじめが起こり、その問題を三人組のメンバーがどう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくか、そのストーリーを展開しながら、視聴する子どもたちに“いじめは絶対してはいけない”という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育むことが大切であることを訴えていくものです。

悩まずアタック! 脱・いじめのスパイラル

●33分 ●全1巻 DVD 82,500円(税抜75,000円) ●字幕選択式

文部科学省選定 文部科学大臣賞
2014年 教育映像祭最優秀作品賞

いじめの防止対策推進法が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した「いじめスパイラル」を映像化したものです。実際にいじめにあって悩み苦しんだ、ある中学生が何とか周囲の人々に悩みを告白するきっかけをつかみ、いじめ問題を解決していく、一つの手がかりを提示する内容です。

SNSの安全な使い方

●全3巻 DVD 165,000円(税抜150,000円) / 各巻 55,000円(税抜50,000円)

本DVDは、ネットやSNSの何が危険かを教員・保護者が正しく理解し、子供たちに安全な使い方を伝えるための教材です。視聴対象を「中学生」「保護者」「教員・教諭」に置いたDVD全3巻の構成です。それぞれ1巻からご購入いただけます。

- 第1巻 自分を守る! SNSの安全な使い方
中学生向 (22分)
- 第2巻 子供を守る! SNSの安全な使い方
保護者向 (20分)
- 第3巻 生徒を守る! SNSの安全な使い方
中高校教員向 (21分)

教員のためのメンタルヘルス

●全3巻 99,000円(税抜90,000円) / 各巻 33,000円(税抜30,000円)

自分自身によるセルフケア、同僚の教員による相互ケア、管理職によるラインケアと、メンタルヘルスで求められる3つのケアに対応した構成です。

- 第1巻 上手なセルフケアのヒント (23分)
- 第2巻 同僚のSOSには相互ケア (19分)
- 第3巻 働きやすい職場をつくるラインケア (21分)

教員のための保護者対応力向上シリーズ

●全6巻 176,000円(税抜160,000円)

- 第1巻 保護者対応の基本(小中学校に対応)
●22,000円(税抜20,000円) ●約20分
- 第2巻 保育園・幼稚園編 ●16,500円(税抜15,000円) ●約22分
- 第3巻 小学校編 ●22,000円(税抜20,000円) ●約22分
- 第4巻 中学校編 ●27,500円(税抜25,000円) ●約20分
- 第5巻 高校編 ●33,000円(税抜30,000円) ●約22分
- 第6巻 対応の難しいケース編
(保育園・幼稚園・小中学校に対応)
●55,000円(税抜50,000円) ●約25分

幼稚園から高校向け セクシュアル・ハラスメント防止 教材セット

●全3点セット ●ライブラリー版 41,800円(税抜38,000円) ●一般ユーザー版 17,600円(税抜16,000円) ●送料別途
●企画・制作: 大阪私立学校人権教育研究会 性差別問題研究会

- 1. 参加型紙しばい「イヤっといえる?」(こども・小学生向け)
- 2. CD「イヤっといえる?」(こども・小学生向け)
- 3. DVD「学校生活を快適に—セクシュアル・ハラスメント被害者にならないために—」(中学生・高校生向け) (11分38秒)

■1,2. こども・小学生向け セクシュアル・ハラスメント防止

- シナリオ 1: 身体を触られて気持ち悪い(親戚のおじさんに身体を触られたり「ヒミツだよ」と言われたら?)
- シナリオ 2: 男らしい、女らしいって何?(男の子は花模様のシャツを着たらへん? 重い物は男子が持つべき?)
- シナリオ 3: イヤがることはしないで!(スカートめくりやズボン下ろしをされたらどんな気持ちがするかな?)
- シナリオ 4: 自分の気持ちを出そう!(ひとりで我慢しないで、自分の気持ちをだそう。そして誰かに聞いてもらおう。)
- シナリオ 5: おとなになるよ!(女子の体の変化、男子の体の変化)

■3. 中学生・高校生向け セクシュアル・ハラスメント防止

- 第1話 これって何かへん(掃除は女子向き? 男子は将来家族を養わなければならない?)
- 第2話 僕か裸は恥ずかしい(女性の先生に裸を見られ「男やったら恥ずかしい」と言われたら? 男が編み物をしたら女みたい?)
- 第3話 好きな先生やったから(女子生徒に男性の先生からくるメールが執拗になったら? ドライブに行こうと誘われたら…。)
- 第4話 顧問は神様?(顧問の先生が女子生徒だけにマッサージをさせたり、身体に触るのは?)



STOP! デートDV

●22分 ●全1巻 55,000円(税抜50,000円) ●字幕選択式

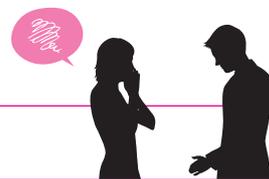
10代のカップルのおよそ三組に一組の割合で、デートDVが起こっていると言われていています。この作品は、若者間で起こるデートDVをドラマ化。解説パートではデートDVが起こった時、どうすればよいか。被害者、加害者、被害者の友人、加害者の友人の立場に分け、デートDVについての理解を深める構成となっています。

デートDV — 相手を尊重する関係をつくる —

●約30分 ●27,500円(税抜25,000円) 解説書付き ●企画・制作:アウェア

デートDVについて関心を寄せる人々が増えるにつれ、デートDVの実態が明らかになってきました。その結果想像以上にデートDVは広くおきていて危険なケースも多いということがわかってきました。今後DV防止教育を始める学校や大学が増えていくことが予想されます。しかし何からどうやって教えればいいのかかわからないというのが教育現場の実情ではないでしょうか。この教育ビデオは具体的にわかりやすく学べる内容です、上映後クラスやグループで話しあう方法でもご利用いただけます。

「デートDV」とは? / デートDV再現ドラマ・高校生カップルに起きていること / 暴力の種類 / デートDVをおこす要因 / 学び落とす / 学ぶ



大学向け (アカデミック・ハラスメント 他)

みんなでつろう、ハラスメントのないキャンパスを

●25分 ●全1巻 DVD 44,000円(税抜40,000円) ●テキスト付

[第1話: やる気がないと決めつけないでください!]
[第2話: どうして機嫌が悪いの?]
[第3話: 研究レベルを引き上げないで! もう疲れました]

ハラスメントを生まない関係づくり

●24分 ●全1巻 DVD 40,700円(税抜37,000円)
●指導者用テキスト付 ●館外貸出制限あり
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

ハラスメントを放っておくと事態はエスカレートし悪化していきます。学生・院生が早い段階でハラスメントの問題を認識し、自ら問題解決に向けて対処することが、早期に問題を解決し、被害を最小限に抑えるために必要です。

アカハラといわれなくするために

— コミュニケーション・スキル・アップの実践 —

●8分 ●41,800円(税抜38,000円) ●館外貸出し制限あり
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

[主な内容] ●遅刻・中途退室のための施錠?
●イライラした時の対処
●使ってはいけない言葉
●アカハラの再生産を防ぐには
●和やかな雰囲気づくり

アカハラで悩んだとき

— あなたならどうする? —

●15分 ●20,900円(税抜19,000円) ●館外貸出し制限あり
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

[主な内容] 第1話: アカハラ教授の反省だけを希望する院生
第2話: アカハラ教授に立ち居振る舞いが似てしまい孤立する博士課程の院生
第3話: 他の研究室に移ることで、無事に大学院生活を送る大学院生

アカデミック・ハラスメントに正しく対応するために

●全2巻 ●41,800円(税抜38,000円) / 各巻 22,000円(税抜20,000円)
●テキスト各1部付き ●館外貸出制限あり
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

■第1巻 相談の受け方 (12分)
相談事例をドラマで展開しながら、相談員2人体制のメリットを示し、解決に導く効果的な相談の受け方を紹介します。

■第2巻 調査委員の心得 (16分)
アカハラを解決する目的で設置される調査委員会の場で、実際にはセカンド・ハラスメントが起き易いことが知られています。あるべき調査委員会の運営方法をわかりやすく紹介します。

新・なくそう、防ごう、気づこう、アカデミック・ハラスメント

●30分 ●全1巻 DVD 33,000円(税抜30,000円)
●テキスト付 ●館外貸出制限あり
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

[第1話 青木先生のストレス]
真面目な青木先生は学生の私語や授業態度にイライラ。ある日の授業中、メモでおしゃべりする女子学生たちに青木先生の怒りは爆発する。

[第2話 井上教授の悩み]
関西出身の井上教授は、授業中もバリバリの関西弁。そんな彼の口癖は「アホ」。ある日、学生の書いた授業評価を見て落ち込み、同僚に相談する。

[第3話 安田准教授の思い込み]
教員になりたての安田准教授。ある日、試験の点数に納得できないという学生が彼のもとを訪れ、なかなか話のかみ合わない二人は口論になってしまう。

なくそう、防ごう、気づこう、アカデミック・ハラスメント

●12分 ●19,800円(税抜18,000円) ●テキスト1部付き ●館外貸出制限あり
●テキスト1色 / 18ページ 税込 ¥200円(送料別) / シナリオ採録、アカデミック・ハラスメントの基礎知識・事例
●企画・制作: NPO法人 アカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク (NAAH)

第1話 「あるゼミで」男子学生が準備をして発表に臨んだところ、教授は・・・。
第2話 「私にも指導を!」社会人女性大学院生が論文の指導のため早退して駆けつけたが・・・。
第3話 「研究か家庭か」男性研究者が結婚記念の旅行のため休みを欲しいと希望するが・・・。
第4話 「男女共同参画の殺し文句」女性助手が出産休暇をとっている間に教授は・・・

【準新作】映像で学ぶ ジェンダー入門 (全5巻)

●各巻 約30分 ●各巻 49,500円(税抜45,000円) ●大学、各種教育機関向け

本シリーズでは学生たちにとって身近な事例を示し、最新の科学的知見に基づき、そこに深く関わるジェンダーの意味、その周辺に存在する問題に迫り、ジェンダーの視点を通じてより多角的な分析と理解ができることを目指した映像教材です。

- ① 男らしさ / 女らしさ
- ② 多様な「性」
- ③ 結婚・家庭におけるジェンダー
- ④ 労働とジェンダー
- ⑤ 性暴力と性の商品化

世界の教育

ビデオ・シリーズ 世界の教育最前線

●各巻 55,000円(税抜50,000円) ※オンライン授業対応
●製作:NPO法人 東京シュール・シュール大学 映像プロジェクト/株式会社創造集団440Hz

教育はもっとも重要視される分野の一つでありながら、問題を抱えており、改革されるべき大きな課題でありながらなかなか改革できない難問として存在することが多くあります。本シリーズは、この現状を変えていく大きな参考になり得る世界各地の実践のあるいは教育現場で起きている変化を現地で撮影した映像で紹介するシリーズです。



新作

2022. 春
完成予定

■第17巻 日本のフリースクール(仮) (約80分)

近年、不登校の子どもの人数が増えている。2016年には普通教育確保法が成立し、フリースクールの公民連携も各地で進んできている。フリースクールはその社会的な存在が強くなっている。不登校特例校も含め、日本のフリースクールを紹介する。

■第1巻

イスラエルの民主的・エデュケーション (25分)

教育熱心な国民性で知られるイスラエルでは、知育偏重の教育への批判が高まる中、子どもの主体性を尊重した民主的・エデュケーションに注目が集まっています。

推薦:喜多明人(早稲田大学教授・NPO法人子どもの権利条約総合研究所子どもの権利条約ネットワーク代表)

■第2巻

過熱する中国の学校教育 (38分)

一人っ子社会でもあり、豊かになった人々は教育に金・人などの多くの資源を注いでいます。市民の子どもに託す願いと国家の戦略の交錯するところに驚かばかりの教育過熱とでも言うべき状況が生まれてきています。

■第3巻

オーストラリアの子ども中心の幼児・初等教育 (27分)

成熟した市民社会の一つと言われるオーストラリアでは、子どもが社会に出会う入り口としての就学前教育、初等教育でユニークな実践が積み重ねられています。個々の子どもの個性を大切に、自立した個人をはぐくむ教育の試みです。

コメンテーター:汐見稔幸(白梅学園大学学長・元東京大学教授)

■第4巻

韓国の代案教育 (28分)

日本同様に、いじめ、不登校、ひきこもりなどが社会現象となっている韓国では、日本のフリースクールの様な「代案学校」が急増しています。バラエティーに富んだ代案学校の中から7校をとりあげ、教育荒廃に対する危機感や過酷な大学受験を背景に、急速に展開する韓国の代案教育を巡る“模索”を描き出します。

■第5巻

ブラジルの民主的・エデュケーション (27分)

経済の急成長など、社会が大きく変化しているブラジルでは、増大した中間層による、詰め込み型の教育への批判が高まっています。サンパウロ郊外にある、3つの民主的・スクールの、ユニークな実践を紹介します。

コメンテーター:里見実(元國學院大学教授)

■第6巻

カナダの多文化主義の教育 (29分)

多文化主義教育とはどのようなものなのか、小学校、中等学校のみならずフリースクールや生涯学習センター、行政への取材を通し、その広がりや限界も含め紹介します。

■第7巻

アメリカのフリースクール (30分)

フリースクールという言葉が日本に入ってきたのは英米からでした。アメリカのフリースクールの特徴、歴史をその中心に位置したクロンラスクールを中心にいくつかのフリースクールに取材しコンパクトにまとめました。

コメンテーター:奥地圭子(NPO法人東京シュール理事長)

■第8巻

パレスチナ、イスラエルの平和教育 (30分)

パレスチナ、イスラエルは紛争が絶えず、またその紛争から憎しみが生まれ暴力の連鎖が断ち切れない状況があります。この両国にある民主的スクールの非暴力で平和を実現していこうとする取り組みを紹介します。

■第9巻

イギリスのフリースクール (31分)

子どもの興味に拠らない教えることありきの教育、詰め込み教育、など現在に至る教育上の課題が問題となった20世紀初頭に新教育の一つとして現われてきたのがイギリスのフリースクールです。サンズスクールを中心に紹介します。

コメンテーター:太田 堯

■第10巻

ブルトリコのエデュケーションシティ (26分)

教育発展途上社会におけるブレクスルールの挑戦をテーマに、エデュケーションシティ設立や運営に係る取材によって構成。

■第11巻

ニューヨークのマイノリティ教育 (22分)

人種、民族、貧困の格差、性的指向…この世界的大都市には多種多様な人が集まっている。この多様な人々の教育実践も様々にある。ニューヨークの多様な教育実践を紹介する。

コメンテーター:汐見稔幸(白梅学園大学学長・元東京大学教授)

■第12巻

モスクワのオルタナティブスクール (35分)

モスクワ国際フィルムスクールは子どもの自主性をダイナミックなまでに重視しながら、ロシアが伝統的に強みを持っている映像表現、演劇表現を専門とするオルタナティブ教育を公教育として展開している世界的にもユニークな存在だ。また、その成り立ちもドラマティックであり、注目すべき存在である。

■第13巻

フィンランドの個性尊重教育 (27分)

フィンランドの教育は、PISAでも好成績を残し、子供の満足度が高いということから国際的にも注目を集めています。小中学校教育を中心に多様な公教育の姿があり、そこでは何が大切にされているのかを中心に取材し、そのオルタナティブな試みや新しい模索なども合わせて紹介します。

■第14巻

フリースクールスタッフとは何か 欧米編 (約40分)

フリースクールは一つ一つがとても個性的です。それぞれに学び・育ちの考えが有り、実践や空間作りにもその考えあるいは歴史が反映されています。そこには個性的なスタッフの存在が大きな役割を果たしているといわれます。欧米の主要なフリースクールの設立者を中心にスタッフのフリースクールについて、教育についての考えや哲学を聞きました。

■ 第15巻

ソウルのオデッセイスクール (約30分)

韓国のフリースクールは日本より歴史は短い、制度や公民連携の実践が充実している。さらに近年、公立の高校とフリースクールが共同で子どもの学び・成長を支える「オデッセイするスクール」プロジェクトが始まっている。非認可のフリースクールの学習指導要領にとらわれない学びを公立高校生が内地留学のように体験して、遅れることなく卒業できる制度だ。韓国だけでなく、日本の参考にもなりえるものだ。

■ 第16巻

ウクライナのフリースクール

勃興するフリースクールムーブメントとその学び (30分)

ウクライナでは急速にフリースクールが増えている。ほんの数年で400とも言われるフリースクールが生まれている。なぜ今、増えているのか、社会とのかかわりを明らかにしながらも、それらのフリースクールとどのような学びが行われているのかを明確に描き出す。現在の子ども、スタッフのインタビューが豊富なだけでなく、フリースクール初期の貴重な映像も見ることができて興味深い。東欧のフリースクールを知る貴重な映像資料。

解説：朝倉景樹 (教育社会学者)

時代を撃て・多喜二

●88分 ●全1巻 DVD 11,000円 (税抜10,000円)

秋田生まれ、小樽で銀行に勤めながら小説「蟹工船」「一九二八年三月十五日」などを書いて世界に知られる作家・小林多喜二 (1903～33) は1933年2月20日、特高警察に捕らえられ、その日のうちに殺され、彼の作品は“国禁の書”として抹殺されてきた。近年発見・公開された肉筆原稿・写真資料などを網羅し、現存する資料を関係各文学館、団体、個人からの協力を受けて映像化。

赤貧洗うがごとき

— 田中正造と野に叫ぶ人々 —

●95分 ●全1巻 DVD 11,000円 (税抜10,000円)

「真の文明は山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」明治中期に起きた公害の原点といわれる足尾鉬毒問題に生涯をかけて闘った田中正造と多くの「野に叫ぶ人々」当時の政官財癒着の実態、マスコミの役割、命や人権の大事さ、住民こそ歴史の主人公であるという厳粛な事実を、豊富や資料や証言をもとに、製作されたドキュメンタリー映画。

弁護士 布施辰治

●98分 ●全1巻 DVD 11,000円 (税抜10,000円)

戦争に邁進するファシズムにたじろがず「人の命を尊び、世の中の一人だって差別されていい人はいない、差別されていい文化などないのだ」「生きべくんば民衆とともに、死すべくんば民衆のために」と日本の侵略戦争に立ち向かい、最も虐げられた朝鮮の民衆の生きる権利を擁護し、戦う人とともに生涯を全うした弁護士布施辰治。韓国・英字幕幕付。

ビデオ・シリーズ 今の世に平和を語り継ぐ

第2次世界大戦では多くの人の命が失われました。このような悲劇は二度と繰り返さない、と戦争を経験した多くの人が平和を大切に生きてこられました。一方で平和について、若い世代などからなかなか実感しにくいという声が多く聞かれます。戦争を経験し平和を大切にすることについて若い世代に伝えたいという思いを切実に持つ著名人による、これから生きる世代へのメッセージビデオシリーズ。

① 土屋公献
平和と人権を守る弁護士

●41分 ●39,600円 (税抜36,000円)

故土屋公献氏は硫黄島近くの激戦地で戦争を体験し、戦後は弁護士となり日弁連の会長等を務められました。戦争の時代を生きた体験から、一貫して平和と人権を守ることが弁護士の使命であるとの信念を持ち活動されました。平和への思い、弁護士として平和を守るとはどのようなことなのか、これからの世代に知って欲しいことを力のこもった言葉で語る、「白鳥の歌」ともいえる貴重な記録。

② 森井眞
自由と尊厳を語り続ける
歴史学者

●33分 ●39,600円 (税抜36,000円)

政治思想史の学者として活躍され明治学院大学の学長も務めた森井眞氏は、戦争中に高射砲部隊に配属され九死に一生を得る経験をされました。その研究の根底には人間は何か、人間にとって自由とは何かという思想があり、そしてその思想の根底には戦争の体験があります。人が人として生きるとはどのようなことなのか、戦争を繰り返さないためにはどのように生きればいいのかを語った真摯なメッセージ。

③ ベアテ・ゴードン
憲法草案を起草した
アートディレクター

●27分 ●52,800円 (税抜48,000円)

日本国憲法のGHQ草案を書いた唯一の生存者であるゴードン氏は、少女時代の10年余を戦前の日本で過ごしました。アメリカ留学中の太平洋戦争開戦によって日本に住む両親との連絡も途絶され、戦後GHQの民間人要員として来日することで両親との再会を遂げます。GHQによる日本国憲法の草案作成時には人権条項の作成を担当し、日本での女性の地位の低さを知っていたことなどから女性の権利について明記したことで知られています。憲法草案の体験、平和への思いなどを語ったインタビュー収録。

④ マリコ
平和を求め続けた
3代の物語

●42分 ●52,800円 (税抜48,000円)

マリコの名は日米開戦直前にワシントンと東京の間で飛び交った暗号である。そのマリコは実在の人物だ。満州事変直後の上海で生まれ、日米開戦をワシントンで迎え、玉音放送を長野の疎開先で聞いた人物だ。両親は文字通り命がけて戦争回避に尽力し、マリコはベトナム戦争の終結をはじめとしたアメリカで平和を第一に考えた政治活動に尽力した。そして、その息子もイラクの戦争被害者を支援するなどの平和活動を続けている。この映像は、マリコと親子3代にわたる平和活動の記録である。